

平成 26 年 9 月 19 日

公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 会員各位

主催：公益社団法人 日本技術士会近畿本部

協力：近畿本部機械システム部会

日本技術士会近畿本部講演会開催のご案内

近畿本部主催（機械システム部会協力）の講演会を下記要領で開催します。多数のご参加をお願いします。また、例会終了後には懇親会を開催しますので、併せてご参加をお願いします。

今回の講演会では、「エンジニアリング・エデュケーション」をテーマに基調講演、実践事例発表およびパネルディスカッションを行い、大学生・大学院生や入社間もない若手技術者の育成・指導・教育の場において技術士がどのような役割を果たすことができるのか、参加者の皆様と考えてみたいと思います。

記

1、日時：平成 26 年 11 月 1 日（土）

13：25 ～ 17：00 例会（13:00 から受付開始）

17：30 ～ 19：30 懇親会

2、場所：「大阪弥生会館（伊吹+愛宕の間）」

〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田 2-4-53（TEL06-6373-1841）

アクセス： JR 大阪駅 中央北口から徒歩 5 分（地図は下記 URL にあります）

<https://www.jrwelnet.co.jp/shisetsu/yayoikaikan/kotsu.html>

3、プログラム

13:00～13:25；受付

13:25～13:35；近畿本部長挨拶、例会主旨説明

13:35～15:05；基調講演「金沢工業大学におけるエンジニアリング・エデュケーションの取り組み」

金沢工業大学工学部 田中 基嗣 准教授（博士・教育士）

15:05～15:15；休憩

15:15～15:40；技術士の実践事例紹介①「『学ばせる』とは何か？」

渋谷 高広 技術士（機械部門）

15:40～16:05；技術士の実践事例紹介②「企業での人財教育」

伊藤 玄 技術士（化学部門）

16:10～16:45；パネルディスカッション

16:45～16:50；アンケート記入、事務連絡

4、参加費

講演会：正会員（日本技術士会会員）は ¥1,000_

非会員は都度例会参加費として ¥2,000_

懇親会： ¥4,000_ 懇親会会場も弥生会館内（三笠+笠置の間）です。

5、参加申し込み

次のメールアドレスへ「会員（技術士（補）、部門）」または「非会員」を明記の上、「講演会」および「懇親会」、各々への参加希望をご連絡下さい。なお、不参加のご連絡は不要です。

pe.kinki.kikaisystem@gmail.com

6、 基調講演のタイトルおよび講演概要

講演タイトル「金沢工業大学におけるエンジニアリング・エデュケーションの取り組み」

講師 金沢工業大学工学部 田中 基嗣 准教授（博士・教育士）

講師略歴

2001年 3月 京都大学大学院 工学研究科 機械工学専攻博士後期課程修了

2001年 4月 京都大学大学院 工学研究科附属メゾ材料研究センター 非常勤講師（研究機関研究員）

2002年 4月 京都大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 助手

2007年 4月 金沢工業大学 工学部 航空システム工学科 講師

2010年 4月 金沢工業大学 工学部 機械工学科 准教授

専門分野：複合材料学，計算力学，バイオマテリアル，バイオメカニクス，バイオミメティクス

講演概要

希望者のほとんどが大学へ進学することができるようになった近年、大学は、研究活動による社会への貢献と社会の要請である人材育成との両立を高度に達成するべく、様々な学力・人間力・バックグラウンドを持った学生相手に効果的な教育をしなければならない状況を迎えている。本講演では、このような課題に対する金沢工業大学のカリキュラム・取り組みを紹介する。また、大学での教育の集大成とも言える所属研究室での研究活動においては、答えの定まっていない問題に対して正しくアプローチ・チャレンジできる人材の育成が最大の目標のひとつである。このような目標に対して、講演者が研究室運営において取り組んでいる工夫についても紹介したい。

7、技術士からの実践事例報告

① 発表タイトル「『学ばせる』とは何か？」

発表者 渋谷 高広 技術士（機械部門）

発表者略歴

1999年 3月 神戸大学大学院自然科学研究科機械工学専攻修了

1999年 4月 川崎重工業株式会社入社

現在に至るまで神戸工場にて船用主推進用減速装置の開発・設計に従事

2011年から大阪電気通信大学工学部大学院、および2013年から神戸大学工学部の非常勤講師を請け負う

発表概要

非常勤講師として機械工学を学ぶ学生を通じて感じる大学教育の現状と傾向を示しながら、企業が求める技術者像との間にあるギャップに触れる。その上で、学生に対してどのようなアプローチで講義を行っているかを紹介する。

② 発表タイトル「企業での人財教育」

発表者 伊藤 玄 技術士（化学部門）

一般財団法人 生涯学習開発財団 認定コーチ

発表者略歴

2000年 化学品メーカー入社

2001年 高熱伝導材料の研究開発に従事

2014年 樹脂成形品の材料設計に従事

複数回の社外出向や部署異動を経て、部下の育成やコミュニケーションの重要性に気付く。

コーチング研修をきっかけに、コミュニケーションを軸とした設計開発の効率向上と若手技術者教育を実践中。

発表概要

企業の財務状況や市況の変化に負けない人財育成を目指す上で、製造業としては若手技術者のモチベーション向上やスキルアップが求められている。

今回は相互コミュニケーションを軸にした企業内教育活動について述べ、部門間の壁を超えた取り組みを紹介する。

以 上